

## 2021年新年あいさつ文

明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界中に拡散し、今なお収束が見えない状況が続いています。世界保健機構（WHO）は世界的な大流行を宣言し、わが国は、この感染症から国民の命と生活を守り抜くため、全国都道府県に緊急事態宣言を行い、感染拡大予防に努めてきました。学校は臨時休校となり、社会経済活動も減速、そして、多くの方が自粛生活を余儀なくされ日常が大きく変化した年でありました。

全国各地あらゆるイベントは中止を余儀なくされました。東京オリンピック・パラリンピックも大会史上初めて本年に延期となりました。安心・安全な大会を実現するために、細かなところまで感染症対策を行い、世界中の人々を最高の「おもてなし」で歓迎したいと思えます。そして、日本の魅力を国内外に発信し、多様性と調和の共生社会をはぐくみ、世界にポジティブな変革を促し、次世代に誇れるレガシーを創出します。

世界は今、各国の英知を集め一致団結した対応で、新型コロナウイルスの治療薬・ワクチン開発を進めています。欧米ではすでにワクチン接種を始めていますが、日本は、国内での治験で有効性や安全性を確認し、本年2月下旬の接種開始を目指しています。

この感染症は、世界経済を戦後最大とも言うべき危機に直面させました。我が国は、事業活動継続を強力に支援し、何としても雇用と生活を守り抜いてきました。私は引き続き「新たな生活様式」を踏まえた社会経済活動の強化を図り、経済再生に向けた取り組みをより一層進め、財源を十分に確保し、国民の生命と健康、生活を守り抜く決意を新たにしています。

さて、国難に直面している最中、日本を取り巻く安全保障環境は、厳しさと不確実性が増しております。外交・軍事面で周辺国に攻勢をかける中国、北朝鮮の弾道ミサイルの脅威、国民の生命と財産を守るため、外交・安全保障を再構築し、基軸となる日米同盟は、アメリカ次期大統領バイデン氏と強化していくことで一致しており、あらゆる外交問題に対し適切

な対応をしてまいります。

私は、これまでの政治経験を活かし様々な課題を真摯に取り組み、私の故郷、南房総の発展と我が国の繁栄のため、全力を尽くしてまいります。本年が皆様にとりまして希望に満ちた素晴らしい年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とします。

衆議院議員 浜田靖一